

省エネ法の目標達成を応援するサービスの提供を開始！

～時間帯別の電力需要最適化係数の見える化&省エネ法連動電気料金プラン～

プレスリリース

2025 年 8 月 15 日

パシフィックパワー株式会社

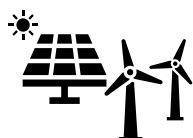
パシフィックパワー株式会社（住所：東京都港区、代表取締役社長：嶋野崇文）は、2023 年度の改正省エネ法に基づき、企業や自治体の省エネ法目標達成を総合的にご支援する「省エネ法応援サービス」を開始したことをお知らせいたします。本サービスは、電力使用の時間帯を「最適化」することで、省エネ法上の評価を得られる仕組みを支援するものです。※現時点では当社もしくは当社出資の自治体新電力と電気の需給契約またはデマンドレスポンス（DR）契約を締結しているお客様に対してのサービス提供となります

サービスの背景～改正省エネ法と時間帯別電気需要最適化係数

2023 年度の改正省エネ法より、電気を使う時間帯を「最適化」することも省エネとして評価されるようになっていました。当社は、デマンドレスポンス（DR）に取り組むお客様の省エネ法の目標達成もサポートします。

省エネ法の指定事業者には前年比 1 %以上のエネルギー消費原単位の削減が目標であり、達成できれば補助金獲得や優良事業者の公表などのインセンティブがあります。しかし、省エネ施策には限りがあり、継続して省エネ投資をし続けることは大変困難です。一方で、2023 年度の改正省エネ法により、電気使用量は同じでも、使う時間帯を変えるだけで省エネと評価されるようになりました。

これは太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの導入量が増えるに従って、特に春や秋の電力需要が少ない時期は昼間の再エネ発電量が賄うべき需要を上回る場面が増えていることが背景にあります。極端な場合には再生可能エネルギーの出力制御となり余った電気を捨てている時間帯もあります。一方で、再生可能エネルギーは出力が不安定なため、電力需給が厳しい場合には非効率な老朽火力発電を稼働して需要を賄っている時間帯もあります。そこで、時間帯別に異なる電気の一次エネルギー換算係数（電力消費量をエネルギー消費量に換算する係数）を適用可能にして、需要を最適化する事業者を評価するような制度改正が行われました。



再エネが多い日時に電
気を使うと省エネ



火力が多い日時に電気の
使用を控えると省エネ

時間帯別電気需要最適化係数

30分又は60分単位で計測した系統電気の使用量を一次エネルギー換算する際に用いる係数

時間帯別電気需要最適化係数は以下の通り

- (1) 再エネ出力制御時： **3.60 MJ/kWh**
(2日前の時点で出力制御が見込まれる日の 8 時から 16 時)
- (2) 需給状況が厳しい時： **12.2 MJ/kWh**
(前日の時点で一部の時間帯で広域予備率が 5 %未満となるが見込まれる日の 0 時から 24 時)
- (3) その他の時間帯： **9.40 MJ/kWh**

当社サービスの概要と期待される効果

まだ改正されたばかりで認知度が低いほか、どのタイミングでどの係数が適用されるのかが分かりにくい、見えにくい、という課題がありました。そこで当社と電力小売やデマンドレスポンスの契約を行っている事業者さま限定で、時間帯別電力需要最適化係数がリアルタイムに表示される WEB サービスを提供開始しました。



当社の WEB サービスを参考にして再エネが多い時間帯に電力を使用することで、省エネに貢献することが可能です。また、再エネが不足して火力が多い時間帯に節電することでも省エネに貢献できます。さらに、当社と容量市場のデマンドレスポンス契約をしている事業者さまには容量市場への参加報酬を還元することも可能です。

関連サービス～省エネ法係数連動の電気料金プラン

また、当社では希望する電力需要家さまに対して、省エネ法の時間帯別電気需要最適化係数と連動して、再エネ比率の高い時間帯の電気料金を安価に設定した電気料金プランを提供しています。このプランを併用することで、省エネ法の目標達成と電気料金の削減が同時に実現可能です。

今後に向けて

今回のサービスに 2024 年 9 月 9 日にプレスリリースした時間帯別の CO2 排出係数をあわせることで、パシフィックパワー株式会社は需要家さまの電力需要最適化の取組を CO2 削減、省エネ達成、電気料金削減という 3 つの観点でサポートすることが可能となりました。今後はこれらのツールを活かして、需要側のデマンドレスポンスなど需要最適化や発電側のアグリゲーションなど発電最適化に地域の自治体さま、事業者さまと取り組んでいく予定です。パシフィックパワー株式会社は引き続き地域エネルギー事業を通じたまちの活性化と発展、カーボンニュートラル化の進展に寄与してまいります。

